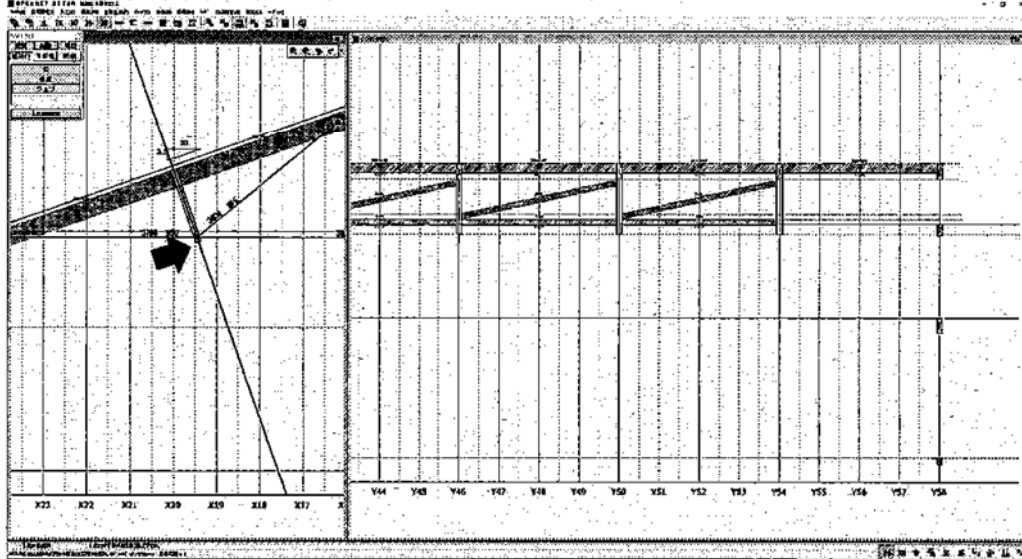


# 2次断面図入力機能を開発

## ネットイーグル



画像左が断面図。右が断面図の断面図となる2次断面図

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、ATAハイブリッドトラス構法に対応したプレカットCAD/CAMシステムで、勾配面となるトラスの「振れ止め」を通り断面で確認しながら入力できる「2次断面図入力」機能を開発した。垂直でない断面を自在に編集する機能で、複雑なトラスも効率的に入力できる。垂直面の断面図入力機能に続いて業界で初めて。

### 勾配面を自在に編集

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼材（引張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コスト競争力が高く、一般のプレカット工場でも加工できる中大規模建築構法として採用事例が増えている。

トラスの振れ止めは東の下部に母屋と平行に渡したうえ、東と東を斜材でつなぐ。トラスの束材（斜材）は独自開発の断面図入力機能で容易に入力できるが、斜材と斜材をつなぐ振れ止めは勾配面となるため、断面図入力機能が使えない。そこで開発したのが断面図から断面図を切り出す2次断面図入力機能

で、振れ止めは木材でも丸鋼でも入力でき、屋根面でも入力できる。

ソフトは同社のプレカットCAD「Xstar」に対応。アークデータ研究所の構造計算ソフトASTIMと連動し、同ソフトでトラス解析、部材断面算定、構造計算を実施したデータを読み込める。

大型建築は特注の大

断面材を製作金物で接合して建てる時代から中小断面の一般流通材を市販の金物で接合して建てる時代が変わりつつある。ATAハイブリッドトラスはその代表例だが、CADがないと手計算で入力しなければならず、熟練した技術者でないと難しかった。

ネットイーグルのCAD/CAMシステムなら、ルールに従って

コンピュータが自動で計算するため、大型物件にありがちな設計変更にも迅速に対応できる。リアル加工パース図で全体の収まりから細部の加工形状まで実際に忠実に表現でき、任意の領域を選択すると部分パースも作成できる。クレビスと木材、丸鋼とボルト、パイプなどの干渉も自在にチェックできる。

ネットイーグルのCAD/CAMシステムなら、ルールに従って